

横浜市管工事協同組合青年部、岩手県管工事業協同組合 連合会青年部連絡協議会が全管連青年部に加入 28都道府県34団体へと拡大

第113回理事会において、横浜市管工事協同組合青年部が、第114回理事会において岩手県管工事業協同組合連合会青年部連絡協議会の加入に関する審議が行われ、満場一致で承認されました。その結果、全管連青年部協議会は28都道府県34団体となりました。

横浜市管工事協同組合青年部

所在地：横浜市中区
扇町1-2-1
代表：会長 鈴木 嘉幸
設立：平成25年7月10日
構成員数：31名



会長
鈴木 嘉幸

加入して一言：

この度は全管連青年部協議会に加入させていただきました事を厚く御礼申し上げます。全管連青年部協議会に加入させて頂いたことで全国の会員各位の皆様との交流を図り、より組織を活性化するための活動の取り組みに精進して参りたいと思っております。

岩手県管工事業協同組合連合会青年部連絡協議会

所在地：花巻市
下小舟渡540-1
代表：会長 内記 康晴
設立：平成30年5月30日
構成員数：12名



会長
内記 康晴

加入して一言：

この度、第114回理事会にて加入承認を頂き誠に有難うございます。全管連青年部協議会の皆様からの御指導の下、若者らしい豊かな感性と行動力を持って充実した組合活動を実施して参ります。何卒宜しく御願ひ致します。

編集後記 福島総会は実行委員メンバーの心意気を感じる素晴らしい総会でした。準備されてきた皆様ありがとうございます。次回の北海道も楽しみです。長崎市で開催される会員交流事業は新理事を迎えての新たなスタートとなります。一年間頑張らしましょう！
河野幸雄総務副部長（東京）



アクアセラミックが、
トイレに新世紀を告げる。

100年クリーン

水のチカラで、ずっと輝く
AQUA CERAMIC

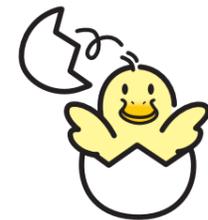
トイレの汚れが、ツルンッと落ちる。リング状の黒ずみ、くすみとサヨナラ。新品時のツルツルが、100年つづく。
※ 同一部位の摩擦回数2往復で年間365日お掃除した場合。お掃除ブラシで約7万回(100年相当)の往復を想定しています。

GOOD DESIGN AWARD 2016
GOLD AWARD

株式会社 LIXIL お客さま相談センター ☎ 0120-179-400 受付時間：平日 9:00~18:00 土・日・祝日 9:00~17:00

全管連青年部協議会

アヒルのたまご



<http://www.zenkanrenjr.jp>

平成30年
(2018)
10月12日
金曜日

No 63

第22回通常総会 福島総会を開催



通常総会



役員等集合写真

全管連青年部協議会の第22回通常総会が、福島県福島市、ホテル辰巳屋にて開催されました。通常総会、懇親会、記念講演、メーカーブース展示等で、合計424名の参加をいただきました。



島 福島県副知事

本総会より初の試みとして、総会前の理事会を1時間早く11時より開催し、以前より活動内容が多くなっている事に対して、議論の時間を増やしました。永山副会長の議長により、議事進行を行い、来年開催予定の第23回通常総会(北海道)や本年、長崎市で開催される会員交流事業、親会委託事業、担い手育成事業等について、議論しました。



木幡 福島市長

第22回通常総会は、青森県の荒関理事の司会にて開会し、栃木県の廣田理事の議長により、スムーズに議事が進行し、第1号議案から第5号



渡辺全管連副会長

議案まで全て可決しました。本総会で愛知県の永山副会長が退任し、新たに石川県の成瀬理事が副会長に就任しました。秋山会長の本年度のテーマは昨年度の Diversity (ダイバーシティ) 多様性からの Sustainable (サステイナブル) 継続性を掲げ、青年部協議会の活動は小さなものではあるが、様々な事業の中で担い手育成事業を中心に業界の人手不足解消について力を注ぐとしました。



松原福島県連会長

総会後の記念講演において、地元福島の詩人 和合 亮一氏による『福島から橋をかけよう』の題目で講演を頂き、7年前の東日本大震災から着実に前を向いて復興へと歩む子供たちの詩の朗読に、改めて「生」の大切さを感じ、また、普段の生活に感謝を思わせる講演となりました。



秋山会長

また懇親会では7月に起きた「西



詩人 和合亮一氏



平成30年7月豪雨災害で集まった募金

日本豪雨」の募金を呼び掛け、会員及びブース出展して下さった賛助会員様より約 40 万円のご厚意を頂戴いたしました。なお、この募金は9月7日に日本赤十字に全額寄付させて頂き、被災した方々の支援に役立ててもらいます。

総会・研修会・懇親会の運営は、福島県管工事協同組合連合会青年部にて担い、この日の為に 2 年前から準備を進めてきました。

『仲間に感謝、こらんしょ福島』

をテーマに、福島県の仲間、福島県の親会、福島県連事務局、全国の仲間、沢山の先輩、全管連事務局、地元の商社さん、メーカーさん等あげればざりがありますが、我々は沢山の仲間に支えられて青年部の活動を行っております。それを感謝しながら行う総会を目指し、手作り感のある運営を行いました。総会の準備を行う中、総会実行委員会の中心人物である、遠藤雅祐さんの突然の死という悲劇にも、遠藤さんの為にも本総会を成功させ



八島 福島市水道事業管理者



賛助会員によるブース展示



第114回理事会

なくてはならないという想いを強く持ちながら、準備を行いました。当日のタイムスケジュールや、司会の台本の文言の確認、狭い会場での開催である為、どのようにして、



次期開催地の北海道管工事協同組合連合会青年部協議会の白谷会長(写真右)へ黄金のパイレンを渡す



記念旅行

全国の皆様に地元流のもてなしができるのか、仲間とともに沢山検討し当日を迎えました。

その甲斐もあり、沢山の方々にお褒めの言葉をいただき、翌日の「会津若松、戊辰戦争の旅」と称した記念旅



日本赤十字社に募金を渡す秋山会長(写真右)

行についても盛況のうちに、全国の皆様を送り出す事ができたのではないかと思います。

本総会を通じて、30年以上前から地元の先輩達より受け継がれていた、福島県連青年部の友情が更に深いものになったと思います。そして、自分達が目標としていた、福島県の団結力を全国の仲間に魅せることのできる総会になったのではないかと考えます。

最後に本総会は福島県連青年部にとって通過点であると考えます。我々がこれから歳を重ね親会に上がり、県連に出向しその運営を担う事になった時、またこのメンバーで全管連通常総会を開催したら更に素晴らしい総会ができるのではないかと思います。沢山の沢山の仲間に感謝です。

福島県管工事協同組合連合会青年部
部長 大橋 学

洗浄水量わずか4.8L。少ない水でもしっかり流せます! TOTO

GREEN MAX 4.8

世界の水資源保護とCO₂削減のために、今TOTOができることを追求した、洗浄水量わずか4.8Lの節水トイレ「GREEN MAX 4.8」。節水性能と快適機能を搭載し、幅広いラインナップで揃いました。



TOTO GREEN CHALLENGE

商品のお問い合わせは TOTOお客様相談室 ☎0120-03-1010 受付時間 9:00~17:00(夏期休暇・年末年始を除く) TOTOホームページ www.toto.co.jp/

平成 30 年度役員

会長	秋山 雅仁	岡山県	理事	野田 剛史	富山県
副会長	扇 俊介	宮城県	//	*美野 太陽	愛知県
//	小金丸 剛	福岡県	//	加藤 友幸	京都府
//	成瀬 章宏	石川県	//	*中西 敏揮	和歌山県
総務部会長	仲儀 公亮	埼玉県	//	山中 賢作	兵庫県
事業部会長	日下 貴博	福島県	//	弘中 謙一	広島県
総務副部会長	河野 幸雄	東京都	//	奈良 悠一郎	香川県
事業副部会長	太田 勝晶	神奈川県	//	*越智 宣英	愛媛県
理事	白谷 和弘	北海道	//	田村 茂人	徳島県
//	荒関 晃介	青森県	//	安宅 弘明	高知県
//	鈴木 英樹	秋田県	//	*岩永 貴之	長崎県
//	*高橋 智彦	岩手県	//	林 誠	熊本県
//	*深瀬 継人	山形県	//	伊藤 大輔	大分県
//	廣田 勝義	栃木県	監事	川又 健太郎	神奈川県
//	*鈴木 嘉幸	神奈川県	//	瀧島 康秀	東京都
//	*木藤 新	神奈川県			*は新任
//	北澤 昂也	新潟県			